DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止
FRASCO

# ■ フラスコ計画

錬金術により生命を造り出す試みは
古より継続されてきたことだが、その手法が確立されたのは
まだ近年のことである。
そして、「１」を造るために多大な犠牲を要する課題は
依然として解消されていなかった。

・・・まずは金や時間よりも生命的犠牲を減らすことだ。
「１」を造るたびに壊れることが問題なら、
耐えうる「母体（フラスコ）」を用意すればよいのだ。

こうして私は「フラスコ計画」を打ち立てた。
錬金術の繁栄こそが私の悲願である。

やがて、気が遠くなるほどの失敗と挫折を超え、
数多の奇跡が折り重なり、双子の「ホムンクルス」が誕生した。

双子は共に母体に適した頑丈で柔軟な身体を持ちつつも、
高い適応力と多様性に富む特殊な細胞も兼ね揃えており、
極めて優秀で、まさに理想的なフラスコであった。

加えて、彼女たちは大変愛らしい姿をしていた。

これまで作り出してきた検体たちは
計画名になぞらえた「フラスコn号」という
検体名しか持ってこなかったが、
この奇跡に心を打たれた私は、二人に名前を与えることにした。

濡羽色の髪が美しい姉はフラスコ21号こと、「ノワール」。
儚く透き通るアルビノの妹はフラスコ22号こと、「フラン」。

二人はこの計画、唯一の成功例であった。

## ■ ノワールとフラン

彼女らは極めて高い学習能力を秘めていたようで、
そう間もないうちに、我々ヒトと混じって
生活することが可能になった。
今後の研究に必要な知識も修めてみせた。

それでも尚、彼女らはまだまだ甘え盛り。
彼女らに形成された人格は年相応とも取れる代物であり、
特に私のことは実の父のように接し、愛慕を露わにしていた。

ノワールは明るくてヤンチャで、弁の立つ賢い子。
フランは内気で大人しく、気遣いのできる優しい子。
二人とも性格は違えど、従順で素直ないい子であった。

彼女らは〇歳児相応の身体をモデルに造られたが、
フラスコであるが故に、生殖器官は歳不相応に成熟させてある。
特に、交雑の効率化を画して生やしてある男性器は、
自身らの脚よりも太い、大の大人もたじろくような
「**巨根**」であった。

豪奢でありながらも、きめ細かい白肌に包まれ、
ほんのり薄紅色の肉蕾が露わをにしたソレは美しくすらあり、
彼女たちの神秘性を際立たせていた。

点検も兼ねて、二人の性器は頻繁に「**手入れ**」される。
彼女らの内側を大人の腕力で丹念に擦りあげていく。
ノワールは快楽に身を捩らせ、甘く濡れた声を惜しみなく漏らし、
一方のフランは、声を殺してじっと身を強張らせながら、
迫りくる快感をじっくり噛みしめているようであった。

その日も二人は無事にオーガズムを迎え、
問題なくそれぞれの「研究」に出向くのであった。

## ■ ノワールと合成獣

人格が形成されていくにつれ、
双子にそれぞれ異なる感性が芽生え始めた。
二人にはそれぞれの趣向に合わせて、
研究の担当を割り振ることにした。

ノワールは
脊椎動物、主に哺乳類をベースに作られた
「合成獣(キメラ)」が好みのようだ。
積極的に獣舎に出向いては、雄の合成獣とまぐわっている。
合成獣たちも、彼女には良くなついているようであった。

この日はイヌベースの合成獣と交尾させた。

とはいえ、この合成獣のペニスは通常のイヌとは異なり、
より確実に交配を成功させるために改良されている。
とはいえ、イボ・トゲが茂り、太さ・長さも尋常ではない。
傍から見れば、もはや一種の拷問器具である。

だが、フラスコである彼女の入口は非常に柔軟で、
年端も行かぬ見た目からは想像もつかぬ拡張率を見せる。
そして、大人の腕ほどもある彼のモノを難なく飲み込んだ。

イヌの猛々しい腰振りに身を任せながら、
荒ぶるウマの、彼女の背丈ほどもある雄棒を、
慣れた舌遣いで愛おし気にしゃぶり出す。

淫気で満ちた獣舎の住人は皆、強い発情状態にあった。
種を残さんと、鼻息を荒立たせ、自身を怒張させている。

ノワール自身も淫気に充てられてなのか、ヤリ足りないのか。
自らの爆根をビクンビクンと脈動させ、
物寂しそうに甘い汁を溢していた。

## ■ 種豚少女

ノワールには母体としてのみならず、
「**種馬**」としても研究に貢献してもらっている。

獣舎の一角には巨大な「**ブタ**」が立ち並んでいる。
全て雌の合成獣である。

ノワールはその中から排卵していそうな一頭を選別し、
突き出された巨尻を小さな掌でぺちん、とはたく。
すると、熟れた肉裂が糸を引きながら独り手に開いた。
彼女はそのグロテスクな蜜壷に男根を
躊躇なく奥まで挿入し、一心不乱に抽挿を始めた。

現時点ではブタベースの合成獣に対して
高い着床率を叩き出している。
ブタとヒトの遺伝子・器官構造は類似性が高く、
ヒトベースで造られた彼女にとって
ブタは近縁種とも言えるほどに相性が良いのだろう。
故にこの交雑のハードルは非常に低い。

やがて、ノワールは抽挿のスピードを速め、一気に腰を打ち付ける。
そして全身を可愛らしくふるふると震わせながら、
ブタの子宮にホムンクルスのザーメンを大量に吐き出した。
スライム状の重いザーメンがブタの腹を膨らませる。
射精は４、５分続いた。

一通り射精し終えたノワールは満足そうな笑みを浮かべている。
この様子だと「**手応えアリ**」といった次第であろう。
長物を引き抜くと、半固形の精液が滝のように溢れ出てくる。
甘えてくる彼女を、「**上手に交尾できたね**」と褒めてやると、
心底嬉しそうな表情を浮かべながら、
尿道に余った精液を地面に溢していた。

☆追記☆
このブタの妊娠が確認された。
胎児にはヒトベースのキメラ遺伝子が配合されている。
交雑は成功である。

## ■ 流れた繁殖場

フラスコが相手取るのは合成獣だけではない。

施設の地下、その中でも更に隔離された一室。
立ち込める強烈な腐乱臭。目を開けることもままならない。

一面に満ちるどす黒い血肉の池には「**異形**」が住まう。
ここに居るのは、生命の冒涜により永遠に蠢き続ける
「**不死者**」の類であった。

野獣の如き膂力に、箍が外れた脳。
恐る恐る池に脚を踏み入れたノワールの細い肢体は、
瞬く間に闇の中に飲み込まれてしまう。

形容しがたい、不快な鳴き声が轟く。
その中にうっすらと、私を呼ぶ声が聞こえた気がした。

蛆の湧いた肉棒で子宮口をこじ開けられ、
腐敗した精液で卵巣を溶かされる。

劇毒の滴る長い舌でディープキスをされ、
千切れんばかりに引っ張られた肉根の穴を押し拡げ、
尿道奥にまで腐った唾液が丹念に塗り込まれた。
異形たちは本能がままに彼女を嬲り倒した。

ホムンクルスと言えど、
この異形と交われば無事ではいられない。
彼らが満足し、打ち捨てられたノワールの身体は
裂かれ爛れ、池と同化してしまう程に無惨であったが、
この「**凌辱**」の余韻に浸り、蕩け切った表情を浮かべていた。

彼女を掬い上げると、
傷に触れた刺激すらも快楽に変換したのか、
少女に似つかわしくない涸れた悲鳴をあげながら、
傷んだペニスから汚れた精液を盛大に散らすのであった。

## ■ フランと触手沼

ノワールとは打って変わって、
フランは顔のない無脊椎動物と交わる方が好きのようだ。
双子の趣向がこうもはっきり隔たれるのは興味深い。
そしてなにより、互いに違うジャンルを苦も無く
担当させれるのは実に効率的でありがたい限りである。

施設の地下から繋がる窟穴の沼には
軟体動物・原索動物をベースに作られた合成獣が住まう。
多くが冒涜的な何某を彷彿させる形状をしていることから、
ここは通称「**触手沼**」と呼ばれていた。

その日も腹を空かせてるのか、何かを探しているのか。
沼を波打たせながら、触手たちはせわしく肉肉しく蠢いている。
一挙一動の意図が読み取れないこの生物を、
フランは「**かわいい**」と称した。

ゆっくりとフランが沼に脚を踏み入れると、
獲物を見つけたとばかりに、触手が一斉に彼女の下肢に、
そして歪んだ期待でビキビキと膨らむ欲望にまとわりついた。
拘束された彼女の幼い秘裂に柔らかい肛門、
果ては熟れた尿道口にまで殺到し、侵入する。

彼女の透けるような肌は、見る見るうちに
跳ねる泥と触手の粘液でドロドロに汚されていった。

体内を乱暴に駆け巡る、知能を持たない触手。
下等生物から受ける支配に彼女は一切の抵抗を見せず、
うっとりと、多幸感に満ちた表情を浮かべながら、
異物で波打つ白い腹を優しく撫でた。

まるで一介の母の如く所作であった。

## ■ 魔蟲の巣

合成獣との交配が潤滑に進むよう、
フラスコは特殊な「フェロモン」を放出するように造られていた。
このフェロモンは、種族を隔てた効果を持っている。

大好きな触手たちと戯れることで、
次第にフランの興奮度合が強まっていく。
特に、触手に好き勝手に揺さぶられている陰茎からは、
身体の他の部位よりもとびきり高濃度の淫気が散り、
窟穴を触手に負けないぐらい淫猥な香りで満たしていた。
そのフェロモンに、奥底に住まう「蟲」も誘惑される。

この窟穴には、湿地暗所を好む、
巨大なムカデなどの節足動物型合成獣も住み着いていた。
フェロモンを頼りに岩陰から這いずり出て、
触手に混じって彼女に絡みついていく。

一匹の巨大ムカデが尿道から精巣にまで潜り込み、
少女の新鮮な精子の海をモゾモゾと泳ぎ始める。
それに負けじと別の一匹が、彼女の口から食道に侵入し、
胃腸にボトボトと卵を産み落とし始めた。
体内外で節足にカリカリ、ガサガサと引っ掻かれる感覚に、
フランは思わず肩を震わせ、身をよじらせる。
表情は、より一層恍惚としたものに変わっていた。

その華奢な手は、彼らを優しく自身の身へと導いていた。
最早彼らに抱く感情は「好み」を超えて「恋慕」に近い。

彼女の抱く感性は、私には到底理解できぬ感覚だが、
長らく停滞していた種族の研究だったため、
進んで研究に身を投じてくれるのは実に助かる。

もしフラスコ以外が放り込まれれば、
十中八九、死は免れない。
ここはそういう場所だ。

## ■ 種の存続

優秀な「苗床」である彼女に種を残さんと、
続々と沼の奥から触手が這い出でては、
無抵抗のフランを強姦する。

肉が千切れる音か、弱い触手の潰れる音か。
ブチブチという痛々しい音を立てながら、
フランの腰ほどの太さを持つ触手が、彼女の胎内を蹂躙する。

端では忍び込む穴を失った細い触手が、
薄紅色のつぶらに乳頭を目一杯こじ開け、
露出した乳腺に次々と卵を産み付けている。
なだらかだった極薄の乳房は、歪に膨らんでいく。

鼻孔には細長いゴカイ型の蟲が潜り込んでおり、
フランの頭蓋に卵を産み付けていた。
彼女の脳内で、走り回る蟲の足音が響き渡っていることだろう。

一度彼らに気に入られてしまえば、簡単には逃してもらえない。
彼らは種の存続のためであれば手段は選ばないのだ。

行為は数十時間に及んだ。
肉が擦れ暴れる水音と、くぐもった呻き声が
窟内に延々と響き渡っていた。
時々、呼吸すらも難色を示す彼女が、私を呼んだ気がした。

事が落ち着く頃には、
フランの全身に異形が詰め込まれてしまっており、
最早、波打つ肉塊とも形容できる姿と化していた。
流石のホムンクルスと言えども、虫の息を隠せない。

それでも彼女は、
立派な「巣」となった自身の身体をぼんやり見つめつつ、
か細い嬌声を溢し、悦びを露わにしていた。

## ■ 懐妊

数日間二人を休ませてあげると、
ダメージは再生し、元の愛らしく美しい二人の姿に戻っていた。

目覚めた彼女たちは、ご機嫌な様子で私に「**腹**」を見せてきた。

フラスコである彼女たちの妊娠期間は極端に短い。
この休養期間で腹は随分と膨らんでいた。
二人とも無事に交雑を成功させていたようだった。

相手は多岐に渡り断定できないが、
もしかするとハイブリッドの子を孕んでいるかもしれない。

更に、異常に膨らんだ精巣からは、睾丸妊娠も見て取れた。
フランはムカデと触手に産み付けられた卵が孵っている。
ノワールは直接そのような行為はしてないはずだが、
恐らく、不死者の舌に何かの蟲の卵でも付着していたのだろうか。
なんにせよ、予期せぬ収穫であった。

「**二人とも、よく頑張ったね**」と手放しに褒めてあげると、
満面の笑みを浮かべ、私にべったりと引っ付いてくる。
頑張った分、存分に甘えたいのだろう。
そうするといい。

二人には出産に専念してもらうため、
しばらくの間休養を与えることにした。

全身で異形を孕んだ二人の出産は常軌を逸したものになる。
流石のフラスコとて、耐えきれるかわからない。
万全を期してもらわなければならない。
まだまだ計画は始まったばかりなのだ。
こんなところでこの子たちを失ってしまっては、
二人の「**母体**」に合わす顔がないではないか。

何に向かうでもなく、ただ今は祈りを捧げ熟成を待つ。
左手の薬指の指輪は今日も鈍く輝いていた。

■表紙のロゴなしペニソなし版
結局海苔で隠れちゃうん。。。

## ☆あとがき☆

おはようございます。
僕はいま朝です。

半年程前に
←を落書きしてまして、
その時は名前もなく
特にホムンクルスとかの
設定はありませんでしたが、
このよくある感じの
コテコテデザインロリに
デカチン生やしちゃうの
めっちゃツボだったんで、
いつかちゃんと練りてえな
と思ってたら今回
本を出すことにしちゃった
次第です。

なんかもう
酒でも飲んでんのかって
ぐらいのエロポエムを
綴ってみましたが、
かなりむず痒いです。。。
ﾊｽﾞｶﾁｲ。。。

大分ハードな内容に
なっちゃいましたが、
僕は描きたいもんを
描いたので満足。
気に入って頂けたら
幸いでございます。

来年もオリジナルの
ふたなり本を出すつもりです。
今度こそサクカ通りに
やりたいなあ。

2017年、おつかれさまでした。
2018年も何卒・・・。


**☆ 奥付 ☆**

FRASCO _CFG-MANIAX 2

発行：水中ホワイト

印刷：株式会社サングループ

発行日：2017/12/31



代表：かるぴ(@calpish / @C_Usui_r18)

連絡先：sw_usui☆outlook.com (☆⇒@)



※当該作品の無断転載・加工を禁止します。

【!】CAUTION【!】

- ロリータ
- ふたなり
- 尿道責め
- 睾丸責め
- 獣姦
- 触手姦
- 蟲姦
- ゾンビ姦
- 妊娠
- 寄生

水中ホワイト

CFG MANIAX vol.2